

おもてなしの心を持って

桃映中
夢・絆集會
元CCAの江上さん講演

福知山市北小谷ヶ丘の桃映中学校（岸本裕治校長、218人）で

21日、「夢・絆集會講演会」が開かれ、旅客機の元客室乗務員（CA）の江上いずみさんが、生徒たちにおもてなしの心の大切さについて話した。

桃映ブロックの学力向上対策事業で、この日は大正小学校でも江上さんの講演があった。

江上さんは日本航空の元客室乗務員で、チーフパーサーも務めた。2013年に退社したあとは、各地でお

もてなしの心を伝える講演活動をしている。

江上さんは、おもてなしをする時に気を付けなければならぬのは、表情、態度、身だしなみ、言葉遣い、あいさつの5つ—と話し



客室乗務員時代の話もし、おもてなしの心の大切さを伝える江上さん

た。

声を掛けられやすい穏やかな顔つきと優しい言葉遣いで、第一印象を高めるためには姿勢を良くし、視線を上げるように教えた。

来年の東京オリンピック・パラリンピックで、多くの外国人が来日するため、正しい握手の仕方も伝授。握手

をしながら頭を下げず、相手の目を見てるのが大切と説いた。

生徒たちに向けて、「相手の気持ちになり、その人にとって一番大切なことは何かを考え、て行動してほしい」と呼びかけた。

2年生の大西陽菜さんは「相手に与える印象の5つのポイントなどを分かりやすく教えてもらい勉強になりました。きょう学んだことをこれからの生活やボランティア、受験などに生かしていきたい」と話していた。